



**みどころ案内**  
 No. 38 (2012/11/30)  
 = 京都府立植物園 =

■職員が心を込めて育てています  
 全ての植物が勝手に咲いていません!  
 ■みんなで温かく見守ろう!  
 みんなの財産です! 感謝!

[注]「ガイドp00」のガイドは『植物園おもしろガイド』本のことです。

**距離の案内**

☆正門～北山門 約700m  
 ☆正門～四季彩の丘 約400m  
 ☆北山門～四季彩の丘 約500m  
 ☆北山門～観覧温室入口 約500m

**展示会等案内**

★ポインセチア展：観覧温室  
 11月30日(金)～12月24日(月)

★夜間観覧温室開園とイルミ：園内  
 12月15日(土)～24日(月)  
 時間：午後5時30分～午後8時  
 入園時間：午後5時30分～  
 午後7時30分まで  
 ※一旦午後5時で閉園します

**【紅葉状況】 2012.11.29**

■紅葉 見頃～ピーク過ぎ

- ・なからぎの森 (上池周辺)
- ・下池から下流 (生態園東側)
- ・ニシキギ (園内各所)
- ・ドウダンツツジ (生態園など)

■黄色など

- ・ヌマスギ (はなしょうぶ園)
- ・メタセコイヤ (針葉樹林エリア)
- ・カラマツ (針葉樹林エリア)
- ・トサミズキ
- ・パロティア・ベルシカ
- ・シナマンサク、イヌビワ など

**【植物ワンコメ】 褐色葉は?**

・夏の緑の葉は、いつの間にか色が変わり、冬前に紅葉して葉を落とします。

・紅葉は最低気温が8℃以下になると始まり、日本では北の北海道で10月中頃に見頃になります。そして、1日約30kmのスピードで南下していくとされます。

・いまでは紅葉は赤く色づくものを中心に考えがちですが、古の頃は黄葉、褐葉を楽しんだようです。

・さて、褐色になる葉の仕組みは、タンニン系の物質が葉の細胞に生じて褐葉すると考えられています。褐色の本体は、カテキンなどが化学変化してきたもので、褐色から赤褐色の水に溶けない色素でフロバフェンとも呼ばれています。

**第21回 ポインセチア展**

約100品種 400鉢 ～12/24(月)まで

**観覧温室**  
 オープン 10～16時  
 入室 15:30まで

**盆栽展示場**  
 コブアクリヤ  
 ジュウガツザクラ

**見頃必見!**

**紅葉**

四季彩の丘

**【植物ワンコメ】 褐色葉は?**

・夏の緑の葉は、いつの間にか色が変わり、冬前に紅葉して葉を落とします。

・紅葉は最低気温が8℃以下になると始まり、日本では北の北海道で10月中頃に見頃になります。そして、1日約30kmのスピードで南下していくとされます。

・いまでは紅葉は赤く色づくものを中心に考えがちですが、古の頃は黄葉、褐葉を楽しんだようです。

・さて、褐色になる葉の仕組みは、タンニン系の物質が葉の細胞に生じて褐葉すると考えられています。褐色の本体は、カテキンなどが化学変化してきたもので、褐色から赤褐色の水に溶けない色素でフロバフェンとも呼ばれています。